

# イスターカーテン ワイドタイプ 扉

## 取付説明書

このたびは、TOKOの商品をご採用いただきましてありがとうございます。商品の組み立てや取り付けには、この説明書をお読みにになり、正しく美しく仕上げてください。ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上で重要な内容です。施工にあたって必ずお守りください。

### ■工事店様へのお願い

扉梱包セットに同梱されている取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください

## 目 次

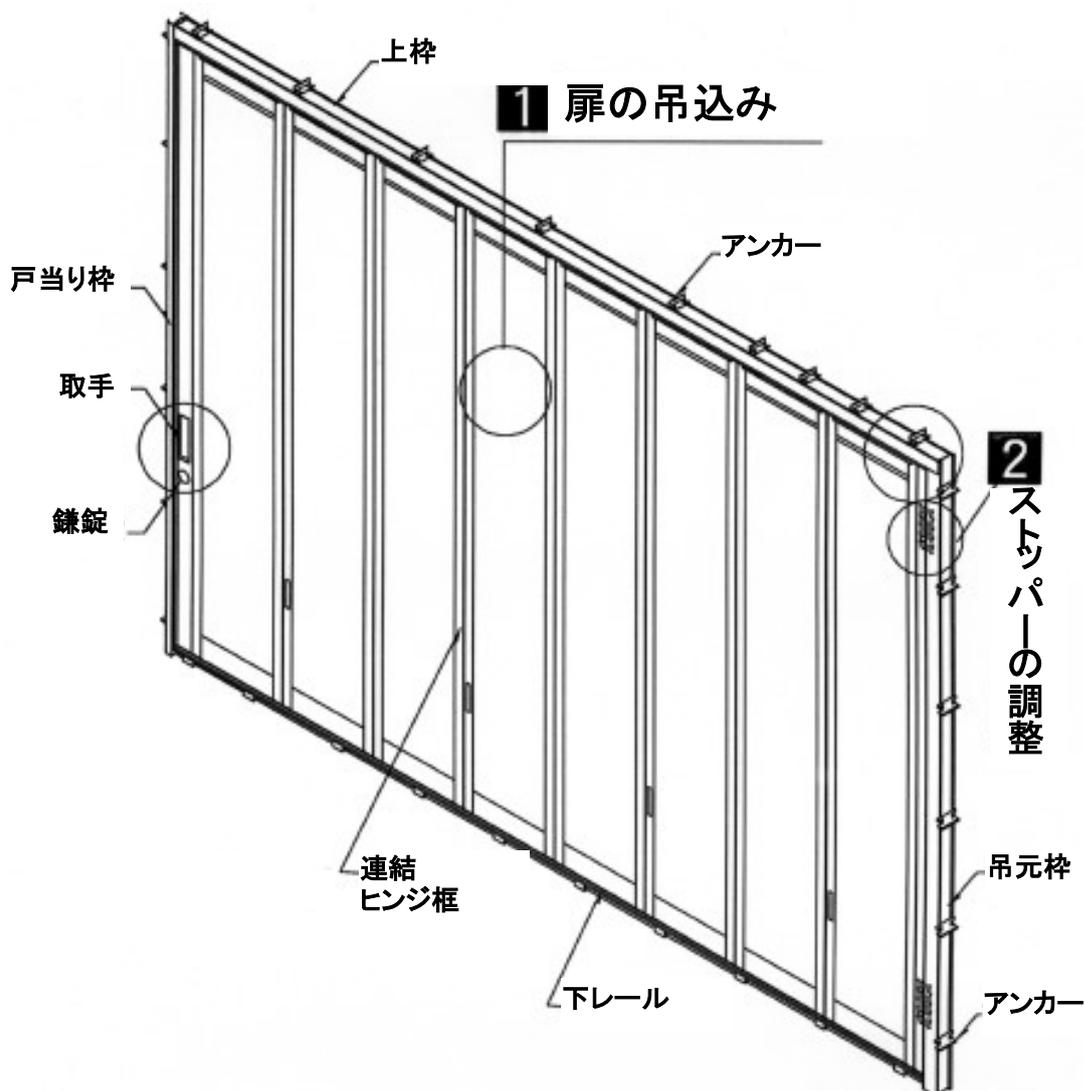
<input type="checkbox"/> 施工上の注意事項	P 2
<input type="checkbox"/> 取り付け手順	P 2
1. 扉の吊込み	P 3
■ 扉の構成	P 3
■ 扉の吊込み準備	P 3
■ はね出しガイドレールの取外し	P 4
■ 下レール吊込み準備	P 5
■ 扉の吊込みA・・・片引きの場合	P 6
■ 扉の吊込みB・・・片引き2枚の場合	P 7
■ 扉の吊込みC・・・引分けの場合	P 8
■ はね出しガイドレールの取り付け	P 9
■ 扉の連結	P 9
2. 吊元ストッパーの調整	P 10
■ 吊元ストッパーの調整ラベル	P 10
■ 吊元ストッパーの位置	P 10
■ 吊元ストッパーの取り付け	P 11
<input type="checkbox"/> 施工後の点検	P 11
<input type="checkbox"/> ガラス嵌め込み説明書	P 12

## 施工上の注意事項

- (1) 各部材の組み立て・取り付けは、取付説明書通り確実にこなってください。
- (2) ねじ止め箇所は、指示してあるねじ全て確実に止めてください。
- (3) 枠が躯体に納まるかどうか、躯体の開口幅・開口高を実測してください。
- (4) 枠の内法寸法を十分確認してください。
- (5) モルタル施工の際、モルタルにアルミ表面の腐食の原因になるものは使用しないでください。
- (6) 施工時にアルミの表面に付着したモルタル等は、速やかに清掃するか、マスキング等をして施工してください。
- (7) アルミと銅板や鉄等の異種金属が接触しないように、ビニールテープ・塗装等による絶縁処理をおこなってください。
- (8) 引き渡し時、ガタツキ、その他使用上の危険がないことを点検してください。

## 取り付け手順

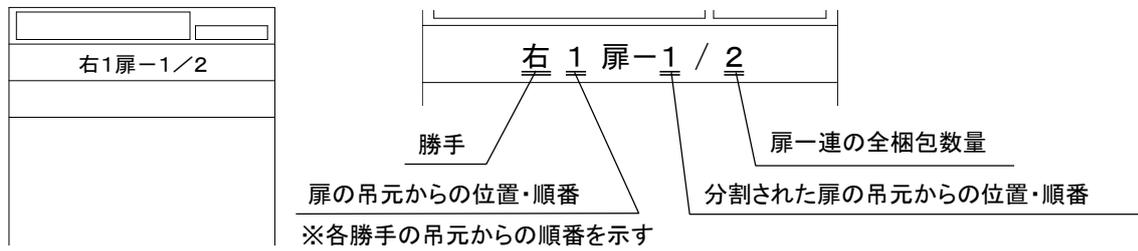
- 施工は、下図の番号順におこなってください。  
図は下レール35型、片引き右勝手を示します。



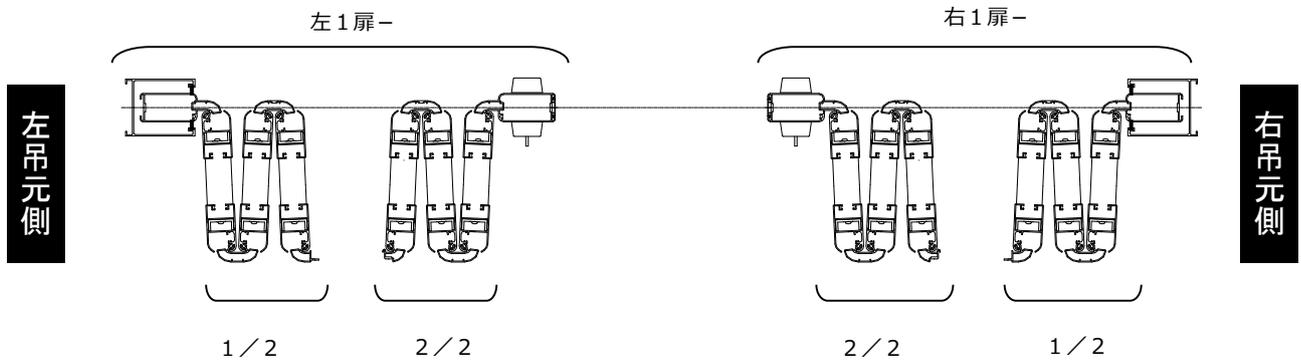
# 1 扉の吊込み

## ■扉の構成

扉は仕様により種類が異なります。梱包箱側面に貼り付けてある梱包表示ラベルにて、扉の配置を確認してください。吊元枠に近い扉から吊込む仕様になっています。

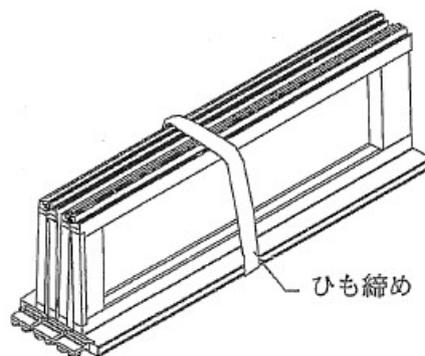


【引分け2連(1+1連)の場合の表記例】



## ■扉の吊込み準備

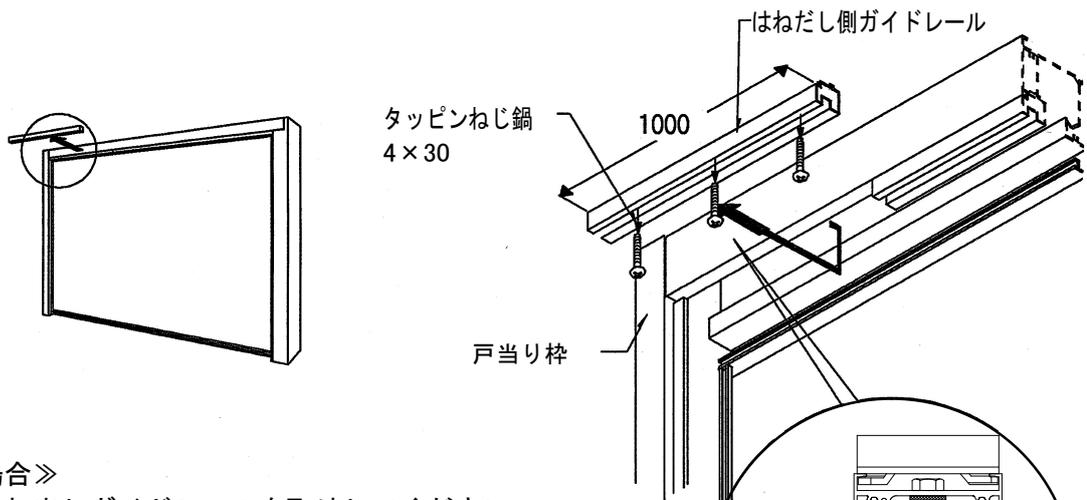
・扉をたたみ、ひも等で仮締めしてください。



## ■はね出し側ガイドレールの取外し

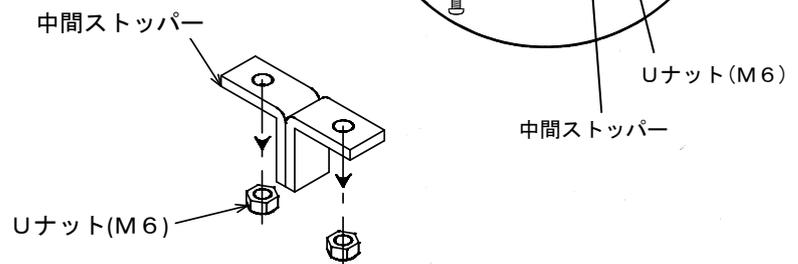
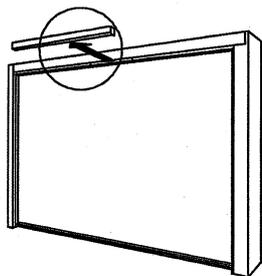
### 《片引きの場合》

図のように取外しガイドレールを、取外してください。  
取外したねじは、なくさないでください。



### 《引分けの場合》

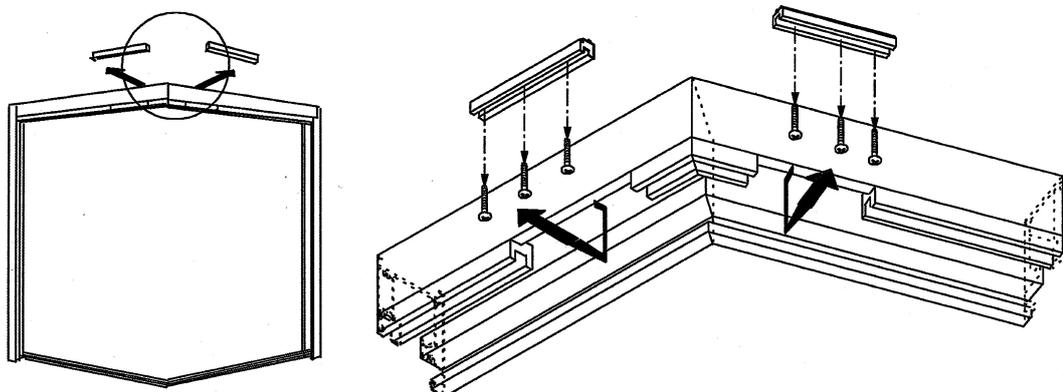
上枠中央のはね出しガイドレールを取外してください。  
また、中間ストッパーも取外してください。  
取外した中間ストッパーとUナットは、なくさないでください。



※Uナットは、ゆるみ止め機能を持つ特殊ナットです。  
取外しの際は、M6用ボックスレンチを使用してください。

### 《角度付の場合》

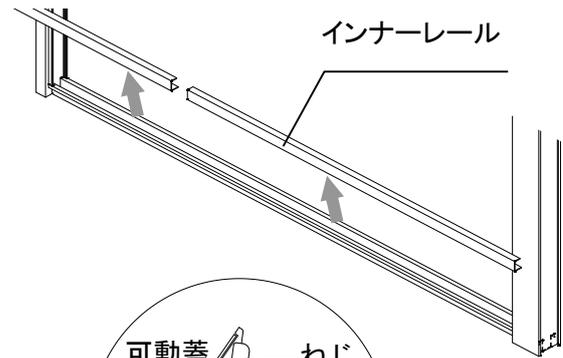
戸先から2番目のはね出しガイドレールを取外してください。



## ■下レールの吊込み準備

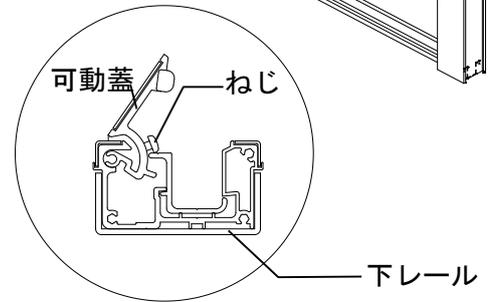
### 35型・35D型レール

インナーレールを取外してください。



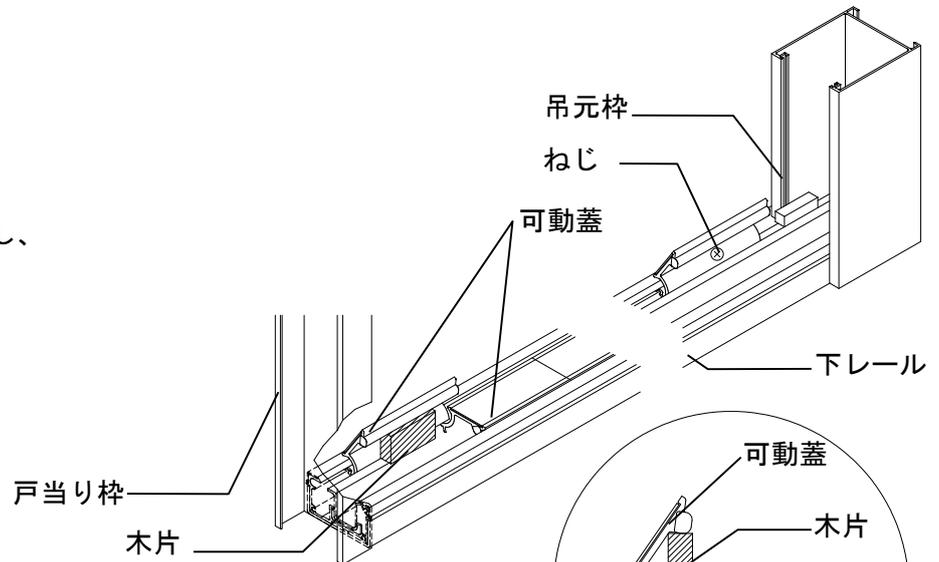
### CR型レール

吊元側の下レール可動蓋を起し、  
タッピンねじトラス4×6にて固定してください。  
\*ねじは下レールに同梱してあります。



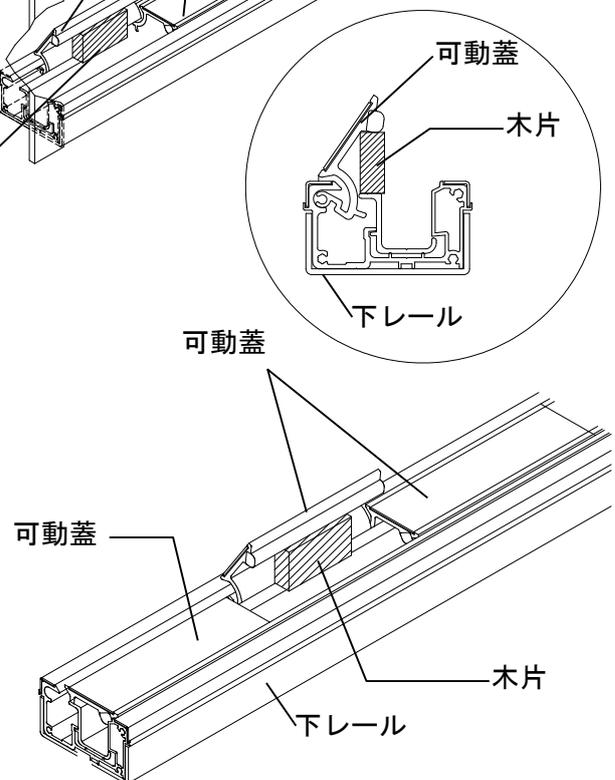
### 《片引きの場合》

戸先側の下レール可動蓋を起し、  
木片にて固定してください。  
\*木片は扉に同梱してあります。



### 《引分けの場合》

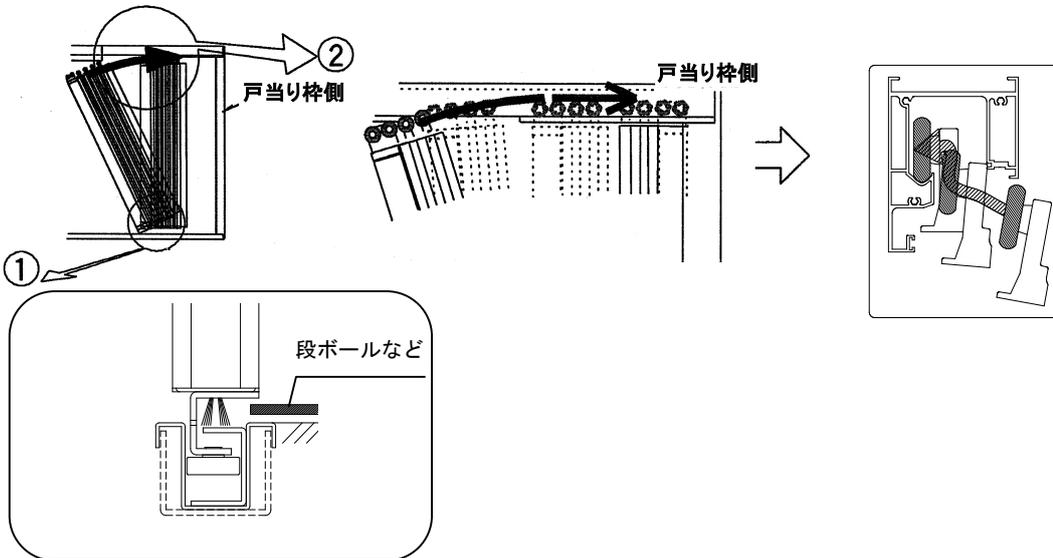
上枠の取外したガイドレール部のちょうど下辺りの  
下レールの可動蓋を起し、木片にて固定してください。  
\*木片は扉に同梱してあります。



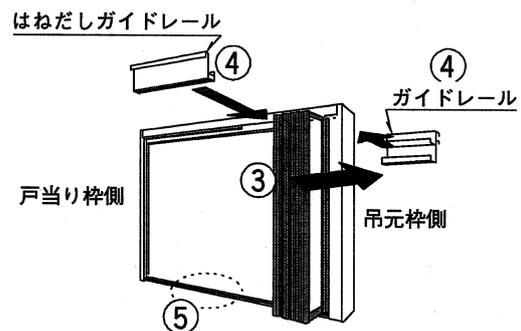
## ■扉の吊込みAタイプ・・・片引きの場合

<注意>Hが2500以下の場合、扉の吊込み手順が吊込みBタイプ（P7参照）になる場合があります。

- ①下レール、土間、床等に段ボールなどを敷き、キズがつかないようにしてください。
- ②図の様に上枠の扉取り付け位置に斜めにセットし、下部ローラーを下部レールの溝にはめ込み図の様に上部ローラーを枠の中に入り込ませるように扉を起こして吊込んでください。
- ③扉をすべて吊元側へ送り込んでください。



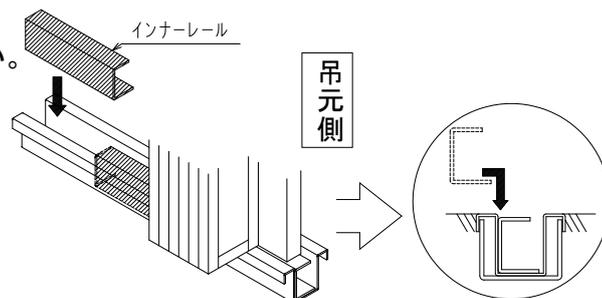
- ④先に取外したガイドレールを取り付けてください。



- ⑤下レールについては下記を参照してください。

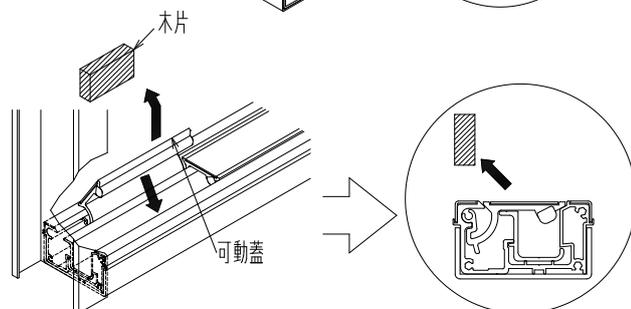
<35・35D型レールの場合>

取外したインナーレールをセットしてください。  
吊元側のインナーレールから順番にセットしてください。



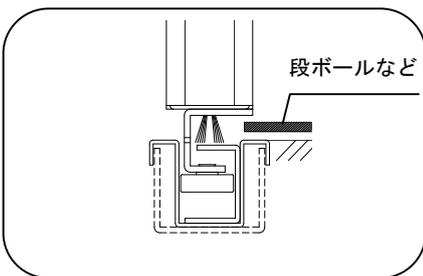
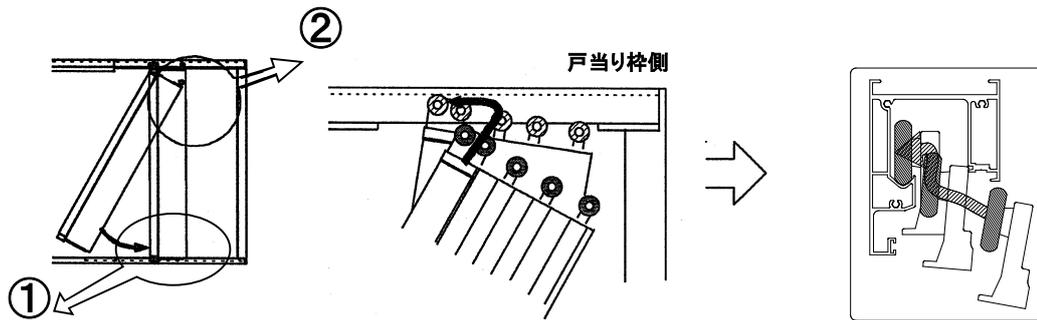
<CR型レールの場合>

木片を外してください。

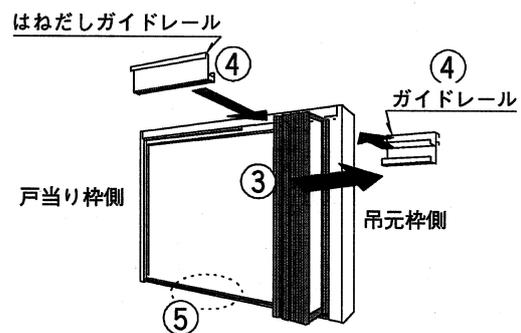


## ■扉の吊込みBタイプ（片引き2枚の場合）

- ①下レール、土間、床等に段ボールなどを敷き、キズがつかないようにしてください。
- ②図の様に上枠の扉取り付け位置に斜めにセットし、図の様に上部ローラーを枠の中に入り込ませるように扉を起し下部ローラーを下レールの溝にはめ込み吊込んでください。
- ③扉をすべて吊元側へ送り込んでください。



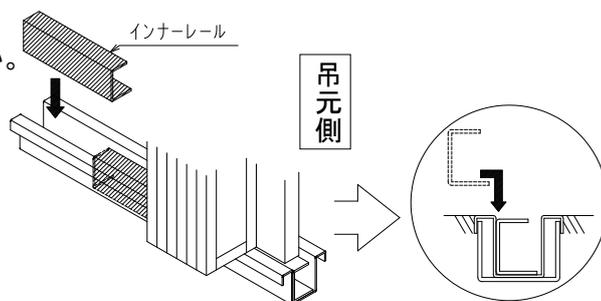
- ④先に取外したガイドレールを取り付けてください。



- ⑤下レールについては下記を参照してください。

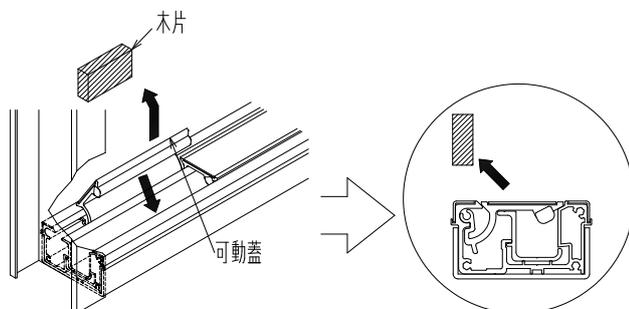
<35・35D型レールの場合>

取外したインナーレールを  
セットしてください。  
吊元側のインナーレールから  
順番にセットしてください。



<CR型レールの場合>

木片を外してください。

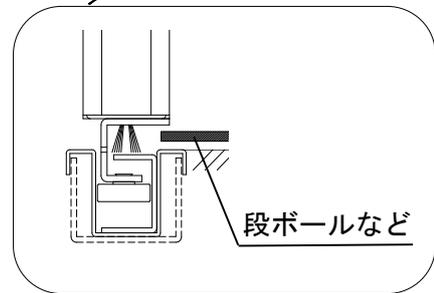
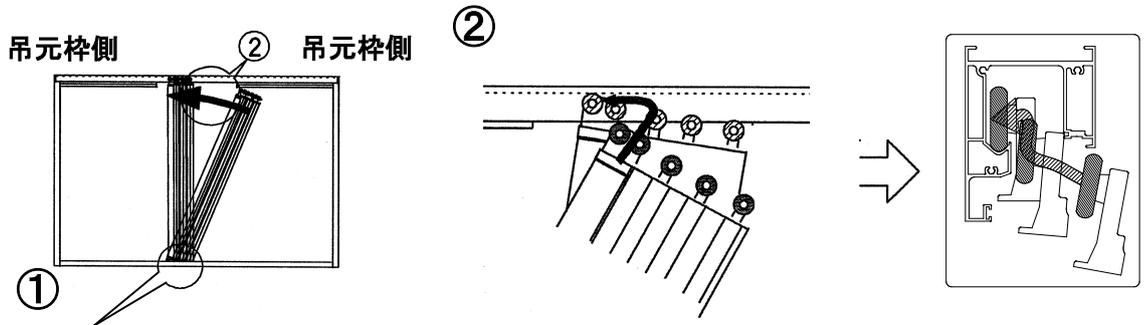


■扉の吊込みCタイプ（引分けの場合）

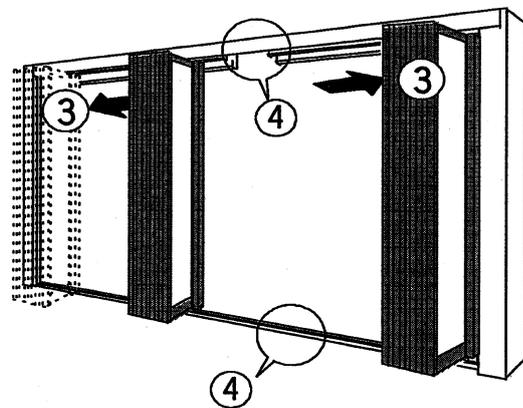
前ページ（P3）扉の構成にしたがって、扉の吊込み順番を確認してください。

<注意> Hが2500以下の場合、扉の吊込み手順が吊込みBタイプ（P7参照）になる場合があります。

- ①下レール、土間、床等に段ボールなどを敷き、キズがつかないようにしてください。
- ②図の様に上枠の扉取り付け位置に斜めにセットし下部ローラーを下部レールの溝にはめ込み図の様に上部ローラーを枠の中に入り込ませるように扉を起こして吊込んでください。
- ③扉をすべて吊元側へ送り込んでください。

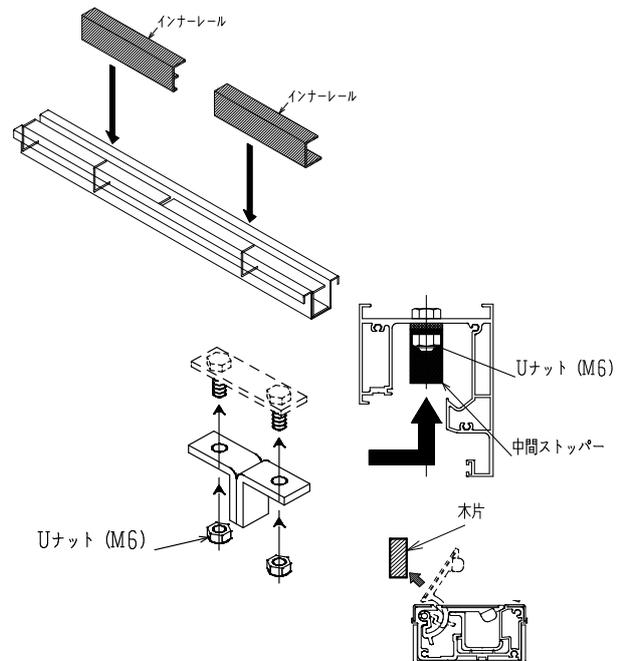


④先に取外したガイドレール、下レールを取り付けてください。



⑤下レールについては下記を参照してください。

<35・35D型レールの場合>  
 取外したインナーレールをセットしてください。  
 吊元側のインナーレールから順番にセットしてください。  
 また、上枠に中間ストッパーをセットしてください。



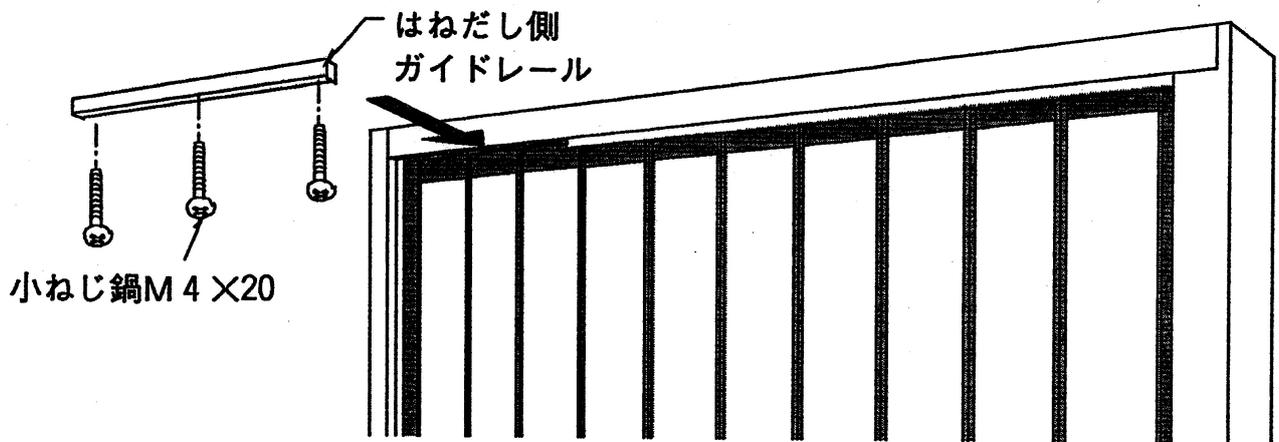
<CR型レールの場合>

上枠から先に取り外した中間ストッパーをセットし、下レールの木片を外してください。

※Uナットは、ゆるみ止め機能を持つ特殊ナットです。  
 取り付けの際は、M6用ボックスレンチを使用してください。

## ■ はね出し側ガイドレールの取り付け

- ・先に取外したはねだし側ガイドレールを小ねじ鍋M4×20で確実に固定してください。(引分け扉の場合は中央部に取り付けてください。)



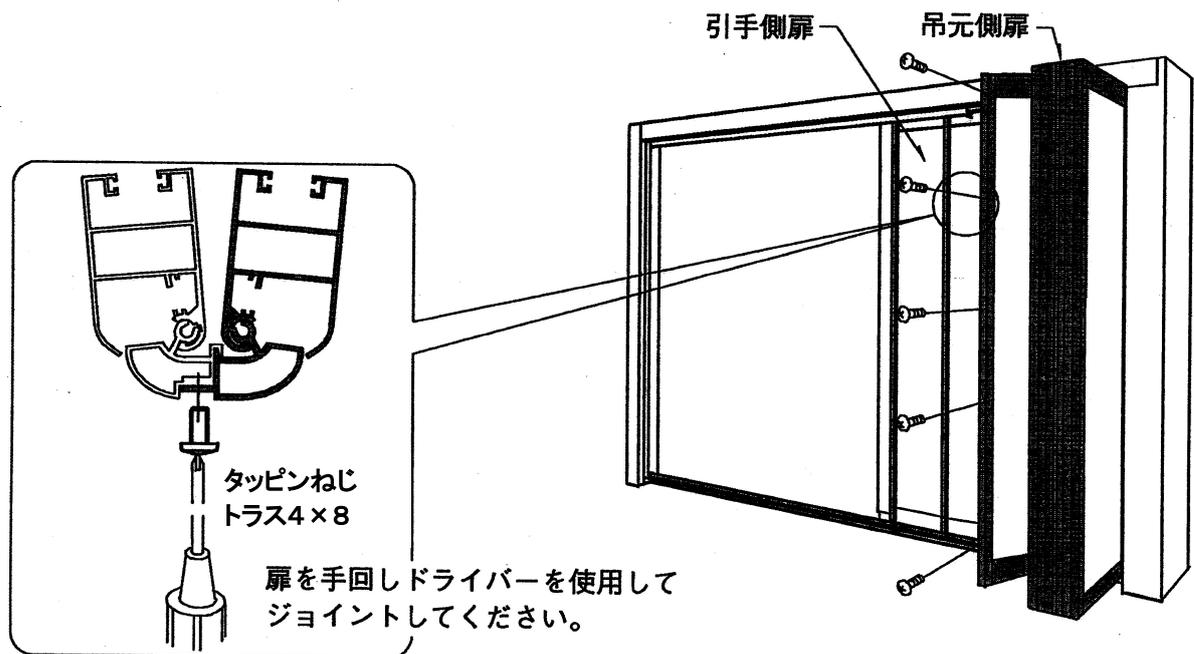
## ■ 扉の連結について

- ・吊元側扉と引手側扉をタッピンねじトラス4×8でジョイントしてください。  
このとき、ジョイント部が下図のように、組み合っていることを、確認してください。

- ・扉連結は、必ず手回しドライバーを使用してジョイントしてください。

**電動ドライバーは絶対使用しないでください。**

- ・電動ドライバーを使用した場合、ねじの締付けが出来なくなる場合があります。



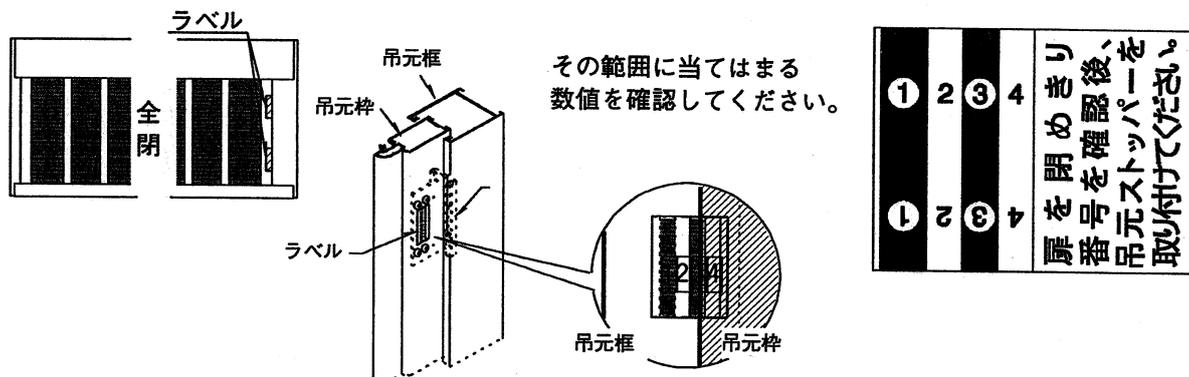
## 2 吊元ストッパーの調整

### ■吊元ストッパーの調整ラベル

パネルの吊込み、連結ヒンジ框の取り付け後に全閉状態にしてください。

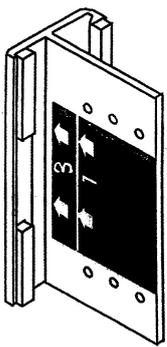
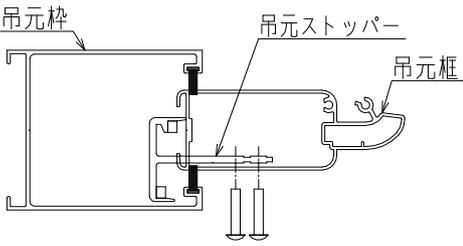
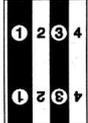
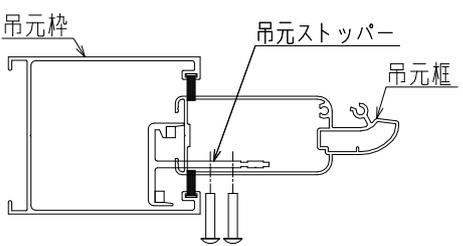
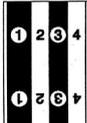
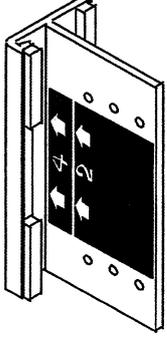
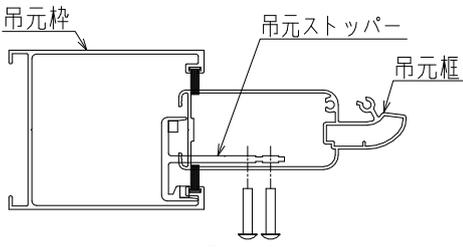
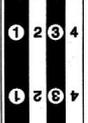
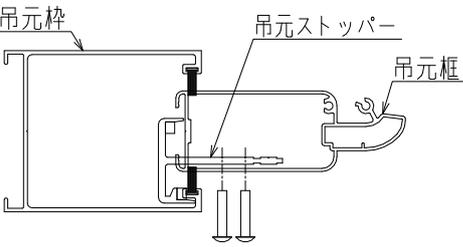
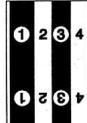
全閉時の吊元枠と吊元枠の重なり位置を、上下に貼付けてある吊元調整ラベルにて確認してください。

その範囲の番号によって、吊元ストッパーの取り付け位置を決定してください。



### ■吊元ストッパーの位置

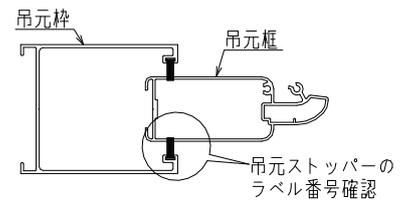
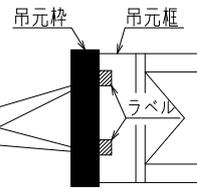
吊元ストッパーの取り付け面に注意してください。

<p>吊元調整ラベルが1, 3の場合</p> <p>ラベル番号1, 3の設定</p> 	<p>[ラベル番号1の設定]</p>  	<p>[ラベル番号3の設定]</p>  
<p>吊元調整ラベルが2, 4の場合</p> <p>ラベル番号2, 4の設定</p> 	<p>[ラベル番号2の設定]</p>  	<p>[ラベル番号4の設定]</p>  

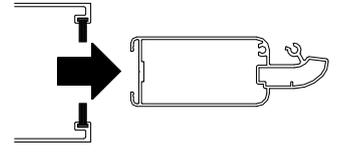
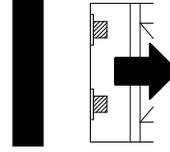
## ■吊元ストッパーの取り付け

- ①上図を参照して上下とも吊元ストッパーの番号設定位置を確認してください。

上下とも吊元ストッパーのラベル番号の確認を行ってください。上と下で番号が違う場合があります。

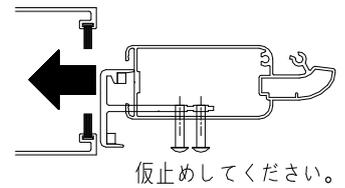
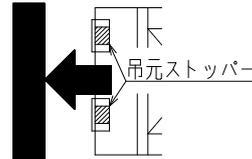


- ②一度吊元枠より吊元枠を外してください。

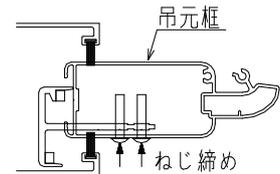
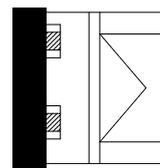


- ③吊元ストッパーを仮止めしてください。再度吊元枠に入れてください。

**注意** → ねじを締めすぎると吊元枠に吊元ストッパーが入り難くなります。



- ④仮止めされた吊元ストッパーのねじを締めてください。



## ■施工後の点検

取り付け作業をしたねじ類の締め具合を確認してください。

本体および下レールについているモルタル等は完全に拭き取ってください。

扉の開閉テストをおこない、軽快さを確認してください。

錠のかかり具合を調整のうえ、お施主様にカギをお渡しください。

扉が完全に折りたたむか確認してください。

ねじ止め禁止ラベルおよび吊元調整ラベルをはがしてください。

# ガラスのはめ込み説明書

## 1 ガラスビード一覧

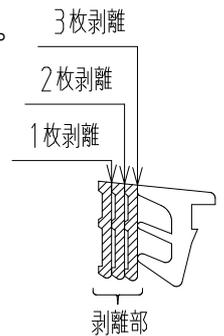
- ・使用ガラス厚に応じたガラスビードの使い分けは、下記表の通りにおこなってください。
- ・先付けビードは、障子にセットされています。

使用ガラス厚	後付けビード
3 mm	○
4 mm	1 枚剥離
5 mm	2 枚剥離
6 mm	3 枚剥離
6.8 mm	3 枚剥離

○印は、剥離せず、そのまま使用して下さい。

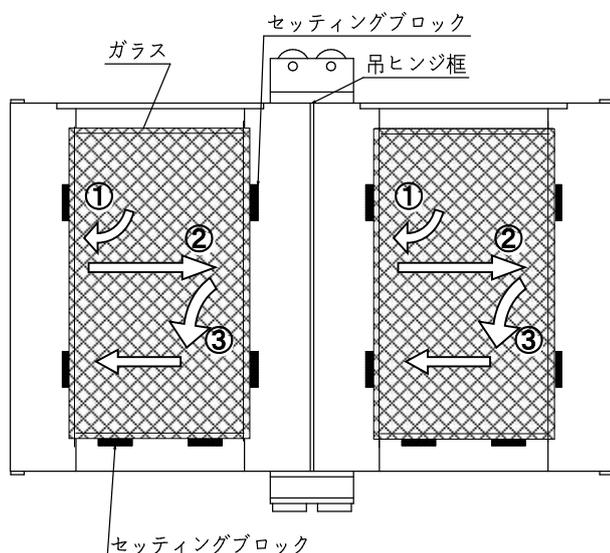


先付けビード  
(障子にセット済み)

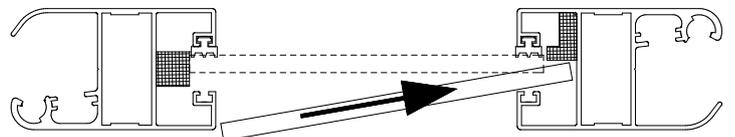


後付けビード

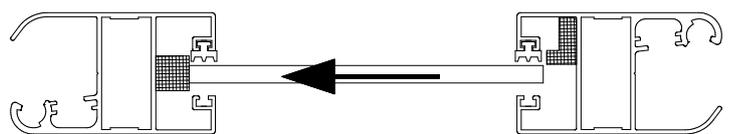
## 2 ガラスのはめ込み



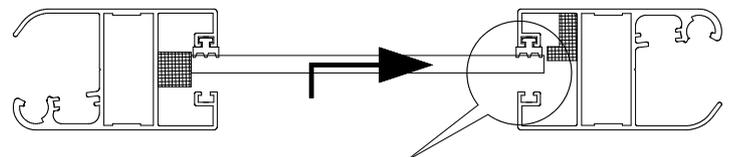
①吊ヒンジ框側にガラスをのみ込ませてください。



②羽だし側ヒンジ框に移動させてください。



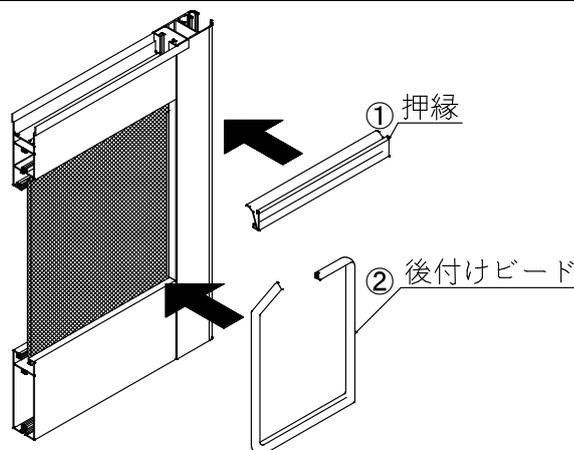
③下セッティングブロックの上に乗せて先付けビード側にガラスを押し、吊ヒンジ框側のセッティングブロックに当ててください。



1mm~2mm程度しかかかりません。

## 3 ガラスの位置決め

- ①押縁を取り付けます。
- ②後付けビードを取り付けます。



株式会社 TOKO

〒916-0062 福井県鯖江市熊田町 1-100  
TEL (0778) 62-1122

' 23. 4